

東北大学は、次代のイノベーションを担い世界で活躍する卓越した研究者の育成と、多様なセクターへの高度専門人材の供給を担うため、**2026年4月より博士課程学生への総合的な支援パッケージを開始します。**

博士学生への総合的な支援パッケージ

東北大学高等大学院LEAPプログラム

TU-AGS LEAP Program

研究力のみならず、国際的視野、創造力、社会実装力を備えた博士人材を育成し、
自らの研究成果をもとに、新しい価値を創造できる飛躍する博士を輩出していきます

博士学生向けの高等大学院LEAPプログラム

- ① 対象となるすべての博士学生※に対して、年額127万円以上の研究奨励費を支給します。
- ② 特に優秀な学生を対象とする学位プログラム所属博士学生には、年額240万円の研究奨励費を支給します。
- ③ 特に優秀な学生を対象とする学位プログラム所属博士学生の授業料を全額免除します。さらに、日本人学生等の博士課程進学を促進するため、対象となるすべての博士課程に在籍する日本人学生等の授業料・入学料を全額免除します。
- ④ 研究科等からRA、TF、TA、AAとして給与を支給される方策を拡充します。これらは、博士課程学生への経済的支援を大幅に拡充するものであり、今後もさらなる支援拡充を進めてまいります。
- ⑤ 博士学生の海外経験・国際研鑽を向上させるため、公募型の研究費支援(旅費等)を実施します。
- ⑥ 博士学生の多様なキャリアパス開発に向け、研究力強化支援やトランスファラブルスキルの修得につながる教育プログラムの展開を拡大していきます。

※ 博士後期3年の課程または医歯薬学履修課程に在籍する学生。次頁参照。

経済的支援の対象学生および分類

(注) 今後の学内予算状況の変動により変更となる可能性あり

対象学生※ ¹		①研究奨励費(年額)	②授業料等全額免除		③公募型研究費 支援(旅費等)※ ⁴
			授業料免除 (年間)	入学料免除	
【学位プロ枠】 学位プログラム等※ ³ に 所属する博士学生	日本人学生等※ ²	240万円	53.6万円	28.2万円	
	留学生	240万円	53.6万円	—	
【一般枠】 学位プロ枠以外の博士学生	日本人学生等※ ²	127.2万円	53.6万円	28.2万円	
	留学生	127.2万円	—	—	

※¹ 研究奨励費及び全額免除の支援対象外: 休学者、標準修業年限を超過した者、180万円以上の収入がある学生(学位プロ枠であれば免除のみ対象)、JSPS特別研究員(免除のみ対象)、国費留学生、併給不可の奨学金等受給者

※² 日本人学生等とは、日本国籍を有する者(日本に帰化した外国人含む)を指す。また、特別永住者、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者なども日本人学生等に含まれる。(参照: 授業料等免除HP <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/gakusei-shien/menjo/youusyusya/>)

※³ 学位プログラム等とは、国際共同大学院プログラム、産学共創大学院プログラム及び学際高等研究教育院を指す(参照: 高等大学院機構HP <https://pgd.tohoku.ac.jp/>)

※⁴ 博士学生の国際研鑽を向上を目的とし、国際会議発表等にかかる公募型の研究費支援(旅費等)。学位プログラム所属学生が必修となっている海外研修やインターンシップ等の活動については、別途学位プログラムから経費支援あり

研究力強化セミナーシリーズ

大学院生の研究力を強化し、国際的に研究成果を発信していけるよう英語力の強化に資する様々なコンテンツや取り組みを提供しています。



Academic Writing & Publishing Seminars

Presentation Fundamentals

英語運用能力を上げる音声学習トレーニング法

英会話のロジック-Speech Function-Based Learning-

英語論文執筆の実践ポイントと最新の出版倫理ガイド ～出版社の視点から～

オープンアクセスとは？生成型AIの利点とリスク：概要と最新動向～学術出版の視点から

nature masterclasses



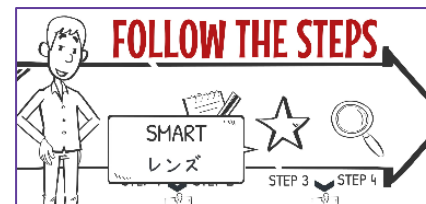
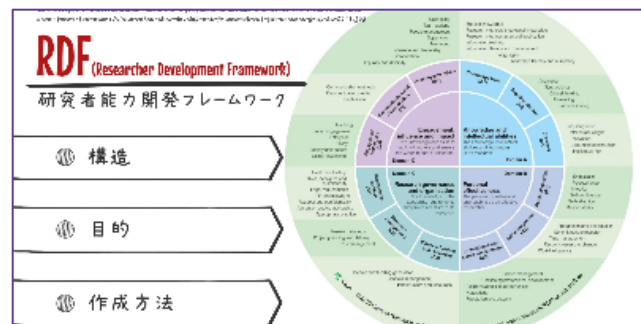
世界中のトップ大学や研究機関が導入しているNature Masterclasses on-demandを、本学でも提供しています。

学生から若手研究者の研究ライフサイクルの全域をカバーし、研究者に必要なスキルや研究力が向上していくプラットフォームを有効に活用してもらいます。

トランスファラブルスキル研修

博士学生にとって、なぜトランスファラブルスキル(＝汎用的能力)が重要なのかを学びます。ワークシートをとおして、自身の体験を振り返り、自分のスキルについて考察することを目的とした研修です。

- 近年、多くの企業で、博士の採用や活躍を積極的に進めようとする機運が高まっています。企業は高度な専門性に加え、トランスファラブルスキルを兼ね備えた博士人材を評価し、活躍を期待しています。



キャリア開発支援

PhDC実務家教員による大学院生向けのキャリア開発支援を行います。

● PhDCキャリア講習(Basic)

博士学生の進路がアカデミアや民間企業など広い視野で持つことの重要性を学びます

● 修士学生のためのキャリアデザイン

修士学生が博士進学を選択することの重要性を知り、今後のキャリアをデザインします。

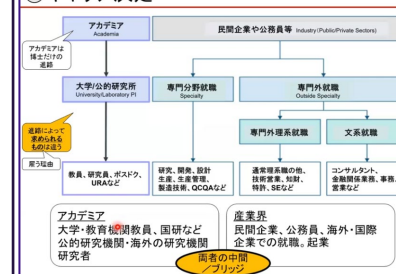
● 日本ビジネス文化研修

博士留学生が日本のビジネス文化について学ぶ研修です。

● Prerequisites for Job Hunting in Japan

留学生が日本社会で就職する際の重要なルールを学びます。

②キャリア決定



The Key Role of the Japanese Language

Language as a Bridge

- Language is the key that unlocks real inclusion.
- Imagine trying to play a team sport without knowledge of the rules—that's what working in Japan without Japanese feels like.

Real-Life Impact of Language Proficiency

- Enables effective communication in meetings, research collaborations, and social situations.
- Improves access to technical materials, job postings, and grant applications.
- Allows deeper relationships with colleagues and mentors.



上記のコンテンツを集約した本学独自の「トランスファラブルスキル養成プログラム」も展開しています。
完了者はオープンバッジ(デジタル証明書)が取得できます。

継続する点

- ✓ AGS RISEプログラムによる支援を受けている学生は、2026年度開始の東北大学高等大学院LEAPプログラムにおいても、**現在と同様の研究奨励費を支給します。**
- ✓ 日本人学生等及び学位プログラムに所属する留学生は授業料を全額免除します。

変更する点

- ✓ AGS RISEプログラムは終了し、東北大学高等大学院LEAPプログラムへ移行します。
- ✓ 学位プログラムに所属していない留学生は授業料の納付が必要となります。
- ✓ 個人研究費の支援については、対象となるすべての博士課程学生による公募型の研究費支援(旅費等)制度に変更します。

2026年度からの支援内容

対象学生		①研究奨励費(年額)	②授業料全額免除(年間)	③公募型研究費支援 (旅費等)※
【学位プロ枠】 学位プログラム等に所属する 博士学生	日本人学生等	240万円	53.6万円	
	留学生	240万円	53.6万円	
【一般枠】 学位プロ枠以外の博士学生	日本人学生等	216万円	53.6万円	
	留学生	216万円	—	

※博士学生の国際研鑽を向上を目的とし、国際会議発表等にかかる公募型の研究費支援(旅費等)。学位プログラム所属学生が必修となっている海外研修やインターンシップ等の活動については、別途学位プログラムから経費支援あり

Q 新たな支援制度の目的は何ですか？

- A
- 本学は国際卓越研究大学として、次代のイノベーションを担い世界で活躍する卓越した研究者の育成や多様なセクターへの高度専門人材の供給を担うため、博士人材の育成に資するべく新たな博士課程支援制度を構築するものです。
 - 本制度の創設を通じ、本学は開放性と多様性を追求し、様々な社会的・文化的背景をもった多彩な才能を受け入れます。また、その個性を尊重するとともに、一人ひとりの成長と自己実現を促す魅力ある環境を作り上げ、活力ある未来社会を担う人材の育成に貢献することを目的としています。

Q 申請すれば誰でも受給できるのですか？

- A
- 2026年度からは、対象となるすべての博士学生に対して支援を行う方式に見直しました。ただし、支援を受けるためには重複制限を確認の上、必ず申請手続きが必要です。また、支援を継続して受けるためには所定の採用者の義務を果たす必要がありますので、詳細については募集要項をご覧ください。

Q 留学生も対象になりますか？

- A
- 国籍を問わず研究奨励費の支援対象になります。ただし、留学生の場合、授業料免除は「学位プロ枠」の学生に限定されます。

Q 社会人学生ですが、対象になりますか？

- A
- 支援対象になります。年齢制限や分野の指定はありません。ただし、就職やアルバイト(RA・TF・TA・AA除く)等による収入見込額が年間180万円を超える場合は対象外となります。

Q 「学位プロ枠」と「一般枠」の違いは何ですか？

- A
- 学位プロ枠: 国際共同大学院プログラム、産学共創大学院プログラム及び学際高等研究教育院の学位プログラム等に所属する学生が対象で、研究奨励費として年額240万円を支給します。また、授業料免除の対象となります。
 - 一般枠: 対象となるすべての博士学生に対して、研究奨励費として年額127.2万円を支給します。また、日本人学生等は授業料免除の対象となります。

Q 申請に必要な手続きや時期はどうなりますか？

- A 申請書(博士課程等で行う研究計画書、これまでの業績資料)、その他所属研究科が指定する書類等を所属研究科が指定する締切日までに提出してください。申請締切は、4月中旬から下旬を想定していますが、所属研究科の指示に従ってください。

Q 学位プログラム所属ですが、授業料免除の手続きは別途必要ですか？

- A 学位プロ枠の学生となりますので、授業料免除の対象となり、免除の手続きは不要です。また、一般枠の日本人学生等も授業料免除の対象となりますので、免除の手続きは不要となります。詳細については、授業料等免除HP (<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/gakusei-shien/menjo/yuusyusya/>) をご確認ください。

Q 「年間180万円以上の収入」の計算期間はいつからいつまでですか？

- A 本支援に採用される年度の1年間(4月1日から翌年3月31日まで)の「収入見込額」で判断します。

Q 研究奨励費に用途の制限はありますか？

- A
- 研究奨励費は、学術研究を奨励し、専念できる環境を整備するための給付金であり、一般的な生活費のほか、研究に要する経費に充当していただくことも差し支えありません。
 - なお、単なる生活援助ではなく、学術研究に専念すること、および大学院教育推進センターが提供する研修プログラム等の義務を履行することに対して支給されます。

Q 公募型研究費支援(旅費等)は、どのような内容の支援ですか？

- A
- 本学では、多くの博士学生が研究を進めながら、国際研鑽を積み、世界へ研究成果を発信していくことを期待しています。公募型研究費支援では、申請1件あたり40万円を上限とし、国際会議で研究発表(口頭・ポスター発表等)を行うために必要となる諸経費を支援します。例えば、海外旅費(渡航費、日当宿泊費等)だけでなく、会議参加登録費、ビザ取得費用(研究目的のみ)、海外旅行保険料、ポスター印刷代、発表を実施するために必要な研究活動に伴う物品購入費等です。
 - 募集は2026年5月以降に、3回程度実施します。
 - 上記の内容は概要であり、一部、変更となる場合もございます。詳細については2026年5月ごろの募集要項公開をお待ちください。

Q 研究奨励費に税金はかかりますか？

- A
- 研究奨励費は「雑所得」として扱われるため、納税の義務があります。学生が自身で確定申告を行う必要があります。

Q 留学生ですが、授業料を納付期限までに支払うことが難しいです。支払いの猶予制度等がありますか？

- A
- 経済的な理由で授業料の納付が難しい場合は、徴収猶予や月割分納制度を利用できますので、必要に応じご相談ください。

Q 現在RISEプログラムの支援を受けていますが、研究奨励費の金額は減りますか？

A いいえ。現在RISEプログラムに採用されている学生は、2026年4月以降も標準修業年限内であれば、現在と同額の研究奨励費が継続して支給されます。

Q RISEプログラムで支給されていた「個人研究費」はどうなりますか？

A 個人研究費の支援については、対象となるすべての博士課程学生による公募型の研究費支援(旅費等)制度に移行します。特に学生の国際的な活躍を強力に後押しする方針へと重点化を図りました。国際会議での研究発表等、意欲的な挑戦を機動的に支援するものとなり、現在RISEの支援を受けている学生も申請が可能です。なお、発表を実施するために必要な研究活動に伴う物品購入費等の使用も可能とします。

Q RISEプログラムが終了し、新たな支援制度に移行する理由はなぜですか？

A

- 本学の博士学生支援は、文部科学省の補助金(SPRING事業)により実施していましたが、この補助金の終了に伴い、本学独自の暫定的な支援制度としてRISEプログラムを創設しました。しかし、SPRING事業及びその後継であるRISEプログラムは、一部の学生しか支援できない点が課題でした。他方、本学は国際卓越研究大学として次代を担う人材を育成するため、博士人材の育成拡充に取り組むこととしています。そのため、今後の支援制度の在り方をより多くの学生を支援する制度として見直し、今般の新しい制度を創設することとしました。
- 博士学生は、本学の研究力強化へ貢献していることから、本学では、対象となるすべての博士学生に研究奨励費(127.2万円または240万円)を支援することといたしました。